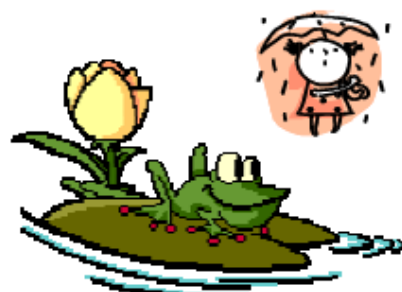


うっとうしい日々が続きますが、いかがお過ごしですか？
このたび 西日本新聞に弊社AirPEXが掲載されました。(H19年6月15日)
ぜひご一読ください。

(担当:土岐正二)



★なんでも情報★

梅雨のこの時期は、湿度が高く蒸し暑く、うっとうしいですね。ちょっと気が早いんですが、ここで冬の話の話を少し・・・

冬は夏と違って湿度が低く、乾燥している事は皆さんもご存知だと思います。

その分別に加湿器などを使って、湿度を補っておられるのではないのでしょうか？

これは乾燥対策と同時に、湿度を上げる事により、温度もさほど高くないのに暑さを感じる、梅雨と同じ状況を加湿器で作っているのですよ。

ダイキンさんのエアコンには、標準で加湿機能が付いているエアコンもあるんですよ！

皆さんもご自宅のエアコンを選ばれる時、冬の事も考えて選ばれてはいかがでしょうか。

買い替えをご検討されている方は、是非一度津福冷機にご相談ください。

あなたにぴったりのエアコンをご提案致します。

津福冷機工業

久留米市梅満町

大学や各メーカーの研究などでは、その実験や研究内容に適合した温度、湿度管理が求められる。そうした研究施設やメーカーのために、特殊空調設備などの製造を手掛けている。

★めざカバヨ

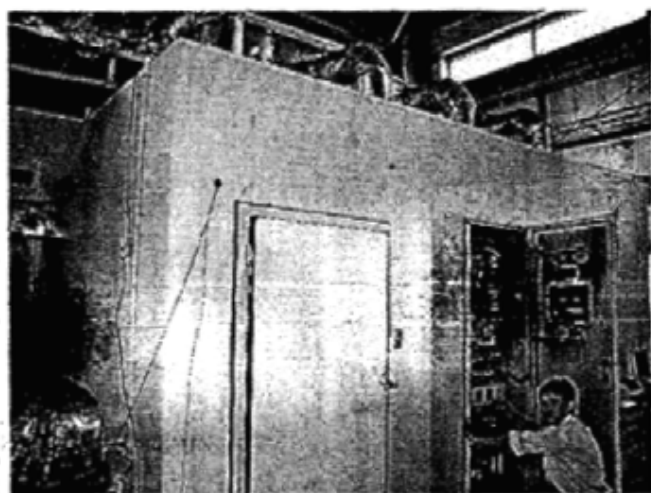
◇メ モ 1929年、冷凍機・アイスクリーム製造機メーカーとして創業。現在の会社は70年に設立された。22人の従業員のほとんどが技術者。本社は久留米市梅満町。筑後市一条に筑後工場、埼玉県に関東営業所がある。0942(34)3456

室温は一定ではなく、上下数度程度の幅がある。しかし特殊空調では、0・二度の範囲内の室温調整が求められることもある。

特殊設備のためか「省エネ」という観点はほとんどなかった。しかし二〇〇二年、それまでの設備より「最低でも三割は電気代が安くなる」(津福一安企画営業室長)という新製品の本格販売を始めた。

これまで、例えば二五度の室温を二〇度にする場合、いったん一度く

特殊空調で特許を取得



津福冷機工業が開発した特殊空調設備。電気代が既存の設備より最低でも3割減るとい

らいに下げ、ヒーターで五度上げていた。ヒーターの方が微調整しやすいから。このほど特殊装置を開発(特許取得)。二〇度にすんなり下げられるようになった。「高い精度を保ちながら、さらなる低コスト製品を作りたい」(津福室長)。技術開発への挑戦が続いている。



津福冷機工業株式会社
TEL: 0942-53-0120
URL: <http://www.tsubuku.co.jp/>